



異文化交流研修 (春季・マレーシア工科大学) 説明会

2022年度



プログラムウェブサイト

本研修の目的

- マレーシアにおける現地研修を通して、異文化の環境におけるチームワークとコミュニケーション能力を習得する
- 多文化的な環境で仕事をするビジョンを育む
- 環境に配慮した経済発展・ビジネスについてマレーシアの学生と一緒に学ぶ

研修地 マレーシア



マレーシア：国概要

- 面積：約33万平方キロメートル（日本の約0.9倍）
- 人口：3,270万人
- 首都：クアラルンプール
- 民族：マレー系（69.6%）、中国系（22.6%）、インド系（6.8%）、その他（1%）
- 宗教：イスラム教（連邦の宗教）（61.3%）、仏教（19.8%）、キリスト教（9.2%）、ヒンドゥー教（6.3%）、儒教・道教等（1.3%）、その他

外務省（マレーシア、基礎データ）より：

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/malaysia/data.html#section1>

クアラルンプールとジョホールバル



研修先：マレーシア工科大学 (University of Technology Malaysia/UTM)

- 首都クアラルンプールと第二の都市ジョホールバルにキャンパスをもつ。
- マレーシアで最も古い国立理工系大学。マレーシアでの工学系人材の3分の2を輩出。
- 人文社会やビジネス学部もあり。
- 2011年にはクアラルンプールキャンパス内にマレーシア日本国際工科院（MJIT）設立。
- 5,000人を超える留学生が在籍。

T3 UTM Kuala Lumpur Campus





T5 UTM Johor Campus



研修のハイライト

- UTM学生のバディとのプロジェクト型研修
- 自由時間もUTM学生のバディがサポート
- 在マレーシア日系企業訪問を通してグローバルビジネスについて学ぶ
- 環境保護に留意した経済発展についてフィールドワークを行い、実践的に学ぶ
- UTM教員による授業（英語）
- 現地でのホームステイ
- マレーシアの二都市での研修＋マラッカ歴史視察を通してマレーシアの多様性を体験的に学習

研修スケジュール（予定）

週	場所	研修内容（予定）
1	クアラルン プール・ マラッカ	・ 企業訪問（予定：ヤクルト、味の素） ・ キャンパスツアー（MJIITを含む） ・ クアラルンプール視察 ・ マラッカ歴史視察
2	ジョホール バル	・ 講義：低炭素な都市開発、持続可能な生産と消費、ライティングとプレゼンテーションスキル、など ・ Kota Iskandar（新行政地区）と開発庁訪問 ・ チームプロジェクト ・ ジョホールバル、キャンパスツアー ・ 1泊2日のホームステイ
3	ジョホール バル	・ 講義：若者による緑化運動 ・ チームプロジェクト ・ グループプレゼンテーション ・ プログラム評価 ・ 閉会式・ディナー



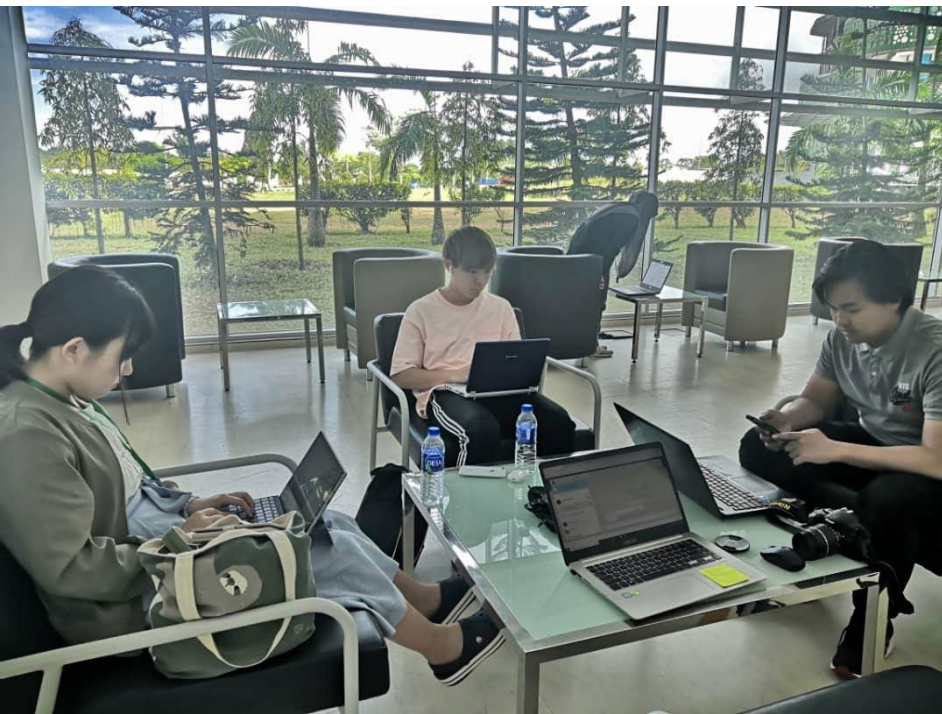
T2 Kuala Lumpur City Tour





T4 Malacca Historic City





Group Discussion & Bonding



TEAM PRESENTATION & CLOSURE



参加資格

- 学部生：「異文化交流研修」科目履修の上、参加可能（履修登録は参加募集の後、教員が履修登録します）。
- 大学院生：科目として履修登録はできませんが、参加可能です。

※ 私費/国費外国人留学生（正規生）は参加可能です。
ただし、マレーシア入国に観光ビザが必要な学生の場合、
日本での在留資格が翌年度7月末まで有効な学部生・院
生に限ります。

※ 日本語・日本文化研修留学生、交流学生等非正規生
は参加できません。

履修上の注意

- 成績報告および登録は翌学期以降となるため、この成績をその年度の進学判定や卒業判定に含めることはできません。また、卒業判定に含まれず、翌学期以降についての卒業者の成績は、卒業後の成績証明書に反映されます。
- 渡航前授業開始後・現地研修開始前に、自然災害、テロ、戦争、伝染病が発生した場合、外務省やWHOなど、各機関の情報を参考に大学が危機管理基準に基づきプログラムを実施するか否かを検討します。現地研修の中止を決定した場合、本科目は自動的にキャンセルとなり、単位は付与されません。

その他の注意事項はシラバス参照のこと。

募集から研修までの流れ

10月5日 17:00	参加申し込み〆切（CELSにログインし、「ダウンロードセンター＞各種申請＞新規申請」から「2022年度異文化交流研修（春季・マレーシア工科大学）参加申請フォーム」を選択し、申請してください。）
10月6日～10月11日	参加予定者へ連絡、教員による履修登録
10月12日～2月15日	渡航前授業（全7回）および危機管理オリエンテーション
2月19日	マレーシアに向けて出発

渡航前授業

10月12日	参加者自己紹介、研修概要、旅行業者による渡航手続き
10月26日	プロジェクト準備
11月9日	マレーシアの文化と社会（注：5時限、オンライン授業）
11月16日	文化とコミュニケーション
12月7日	マレーシアについてのグループプロジェクト発表
1月25日	ゲストスピーカー：マレーシアからの留学生
2月15日	最終確認打ち合わせ

- 水曜 4 時限、必要に応じて 5 時限まで
- 上記の授業に加えて、危機管理オリエンテーションにも必須参加（後日日時等連絡）。

研修後の流れ

3月22日	プログラム振り返り会
3月31日	研修レポート提出〆切
4月26日	一橋大学 海外留学フェアでのプロモーション
～ 7 月	報告書提出

旅程と費用



Photo by [Natali Quijano](#) on [Unsplash](#)

旅程と費用の概要

- ・ 日程：
 - 日本出発日：2023年2月19日
 - 日本帰国日：2023年3月11日
 - ・ 費用：455,354円【概算】
 - ・ 奨学金：参加者には、プログラム費用から海外旅行保険料を除いた研修費用の20%相当の奨学金を一橋基金より支給予定。
※奨学金申請方法等については参加者確定後に教務第五係より案内します。
- * 費用と奨学金についてはスライド23-25を参照のこと。

マレーシア研修スケジュール

日時	交通	時間	摘要	滞在
2月19日	JL723	11:05 18:10	成田空港発、空路クアラルンプールへ。 クアラルンプール空港到着。着後 UTM滞在先へ。	UTM KL ゲ ストハウス
2月20日～ 2月22日			UTM KLキャンパスで研修	UTM KL ゲ ストハウス
2月23日～ 2月25日			マラッカへ移動し、マラッカ視察	ホテル
2月25日			バスでUTMジョホールバル（JB）キ ャンパスへ移動	UTM JB ゲ ストハウス
2月26日～ 3月10日			UTM JLで研修	UTM JB ゲ ストハウス
3月11日	JL712	08：20 16：05	シンガポール発、空路帰国の途へ 成田空港着。	

《 研修費用 A 》

- UTMプログラム参加費

- USD 1,700 （15名以下の場合）

$$\text{USD}1,700 \times 142.33 \text{円} = \underline{241,961 \text{円}}$$

- USD 1,600 （15名以上の場合）]

$$\text{USD}1,600 \times 142.33 \text{円} = \underline{227,728 \text{円}}$$

* 2022年9月1日、三菱東京UFJ銀行 キャッシュレート=US\$1/142.33

《 研修費用 B 》

・ 旅行代金 132,533円

※旅行代金に含まれるもの：日本航空往復航空券費用（98,000円/東京・クアラルンプール／シンガポール・東京間 エコノミークラス）、J-TAS海外危機管理サポート費用（1,533円（＝73円×21日間））、24時間ホットライン費用、UTS取扱手数料（33,000円）

※旅行代金に含まれないもの：

- ・ 航空関連諸税：マレーシア入国税（4,840円）、成田空港施設使用料（2,660円）、燃油サーチャージ（50,200円）、国際観光旅客税（1,000円）
- ・ 海外旅行保険料(A3の場合、21,850円/特約 出国中止・中途帰国費用 10万円の場合、310円)、個人的性質の出費

旅行代金＋航空関連諸税＋海外旅行保険＝213,393円

研修費用A＋B＝455,354円【概算】

* 現地事情並びに経済状況や原油価格などの変動により旅行代金、燃油サーチャージ、空港税、旅程が変更になる場合もございますので予めご了承下さい。

海外旅行保険

① 東京海上日動A3タイプ 21,850円

・ 傷害死亡	3,000万円
・ 傷害後遺障害	3,000万円
・ 治療・救援費用	無制限
・ 応急治療・救援費用	300万円
・ 疾病死亡	1,000万円
・ 賠償責任	1億円
・ 携行品損害	20万円
・ 航空機寄託手荷物遅延	3万円
・ 航空機遅延	付帯あり

② 出国中止/中途帰国費用（特約） 10万円（追加） 310円

$$\textcircled{1} + \textcircled{2} = \underline{\underline{22,160\text{円}}}$$

取消料規約

【旅行部分(手配旅行)】

お申し込み日から起算して8日以内。但し、受入の30日前 (ピーク時にあっては40日前) 以降を除く	無料
お申し込み後9日以降で受入日の40日前まで	UTS取扱手数料 33,000円
出発日の40日前以降、出発の日前まで	UTS取扱手数料 33,000円 + 航空券取消料50,000円
出発当日および無連絡	旅行代金 100%

* ピーク時 : 4/27-5/6、7/20-8/31、12/20~1/7

* 外国籍の学生で学生査証が必要な場合は、正式申し込み前までにお知らせ下さい。査証取得に関する状況をお知らせし、ご了承いただいた上で正式なお申込手続きをおとりいただきます。

取消料規約

【マレーシア工科大学 部分】

2023年1月15日まで	授業料お支払い後、2023年1月15日まで、サービスチャージ16%および銀行の取り扱い手数料を除き、全額返金。ご返金にあたり、外国為替での差損が出る場合がございます。 Full refund but will incur a 16% service charge and loss of currency exchange/bank charges.
2023年1月16日以降、 2023年2月3日まで	授業料お支払い後、2023年1月16日以降、2023年2月3日まで、サービスチャージ16%および銀行の取り扱い手数料を除き、研修費用50%の返金。ご返金にあたり、外国為替での差損が出る場合がございます。 50% refund of the fee after reduct 16%(Tax and Service) of the fee paid+ currency loss.
2023年2月4日以降	研修費用 100%

旅行代金・研修費用 お支払い及びお手続きスケジュール

日時	内容
2022年10月19日まで	UTS取扱手数料33,000円のお支払い及び海外旅行保険の加入（保険料のお支払い含む）
2022年12月13日まで	UTMへのプログラム参加申込みおよび参加費用支払い締切 ・2022年12月13日までに、以下のリンクからアプリケーションフォーム提出。（有効なパスポート写真面のコピーもしくは学生証コピーを提出。） http://www.utm.my/mytree/application-form-ss14/ ・マレーシア工科大学（UTM）で受付後、UTMからご請求書を送付されます。その指示に従い、Flywire (credit card, paypal, etc), もしくは銀行送金で授業料をお支払いください。 Your application will be considered, an Invoice will be sent to you with payment instruction via Flywire (credit card, paypal, etc), or bank transfer. * 取消料規約について、上記でご確認ください。
2022年12月26日まで	残金のお支払い

Q&A



Photo by [Towfiqu barbhuiya](#) on [Unsplash](#)

研修情報



- **参加申し込み**：CELSにログインし、「ダウンロードセンター＞各種申請＞新規申請」から「2022年度異文化交流研修（春季・マレーシア工科大学）参加申請フォーム」を選択し、申請してください。**10月5日 17:00 〃切（期間厳守）**
- **プログラムウェブサイト**：<https://international.hit-u.ac.jp/jp/courses/short-term/singapore/index.html>
- **研修に関する問い合わせ**：塚田英恵（hanae.tsukada@r.hit-u.ac.jp）・太田浩（h.ota@r.hit-u.ac.jp）
- **旅行部分に関する問い合わせ**：UTS 上野
TEL：03-6418-0711 E-mail:uts-group@uts-japan.co.jp
- **CELS申請・奨学金に関する問い合わせ**：教務課教務第五係
西キャンパス・本館 1 階 E-mail:edu-gs.g@ad.hit-u.ac.jp